

県立高校改革実施計画（ 期 ）

白山高校
普通科・専門学科併置校
設置計画

平成28年10月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 白山高等学校
- (2) 位置 白山高等学校敷地（横浜市緑区白山4-71-1）
- (3) 実施年度 平成29年度

2 設置の目的

- これまで普通科専門コースとして取り組んできた教育活動を継承・発展させ、穴窯による陶芸やグラフィック技術の学習など、美術の専門的な内容を深く学ぶことができる美術科を設置する。
- 美術科の併置により、学習や進路について普通科と相互の融和を図る。
- 進路希望実現のための共通した基礎的な科目を踏まえつつ、自己の適性や将来の自己のあり方を見つめた上で、さらに専門性を深めるための発展的な科目の学習を充実するなど、一人ひとりの個性を伸長することをめざした教育を行う学校づくりを行う。

3 基本的コンセプト

学年制による全日制普通科と専門学科とを併置する県立高校として教育を展開する。

普通科としての学習の取組みと教育の展開

普通科として共通教科・科目を中心とした学習に取り組む、生徒一人ひとりの学習や進路のニーズに応じた質の高い教育の提供を図る。

美術科としての学習の取組みと教育の展開

美術科として、自校の環境をいかし、日本の伝統文化をとらえ、理解するとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てることができる教育を展開する。

また、絵画、彫刻、デザイン、工芸など各分野の選択科目を設置し、生徒一人ひとりの進路希望や学習ニーズに応じることができる教育課程を編成する。

普通科と美術科の併置をいかした教育課程の編成

普通科と美術科の併置をいかし、相互の科目を履修できる教育課程を編成する。普通科においては、充実した環境のもとで芸術に親しみ、個性を伸ばす教育の展開も可能とし、美術科においては、進路希望の実現に向けた充実した共通教科・科目の履修も可能とする。

外部機関との連携・協働による多様な学習機会

地域ならびに大学・社会教育機関等との連携・協働による多様な学習機会と穴窯等を活用した地域との協働による社会人の学習機会を提供する。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科 普通科
美術科（美術に関する学科）
- (3) 学校規模 全日制の課程 960名（各学年320名 8学級規模程度）
普通科 840名（各学年280名 7学級規模程度）
美術科 120名（各学年40名 1学級規模程度）
学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年
- (5) 学期 3学期制
- (6) 履修形態 学科ごとの科目履修及び自由選択科目の科目選択
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

<日課表> （予定）

	(月)～(金)
ショートホームルーム	8:40～8:45
1 校 時	8:50～9:40
2 校 時	9:50～10:40
3 校 時	10:50～11:40
4 校 時	11:50～12:40
昼 休 み	12:40～13:20
5 校 時	13:25～14:15
6 校 時	14:25～15:15
ショートホームルーム	15:15～15:20

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。

普通科では、自由選択科目において、美術科に設置された芸術教育に関する、多様な科目を設置し、選択可能な設定を行う。

美術科では、すべての生徒に履修させる美術に関する専門科目は25単位を下らないものとする。

美術科の自由選択科目において、普通科に設置された普通教育に関する応用・発展的科目など多様な科目を設置し、選択可能な設定を行う。

大学・社会教育機関等との連携による校外の学習機会や長期休業期間等を活用した集中講座など教育課程の弾力化を図る。

(2) 教育展開の方針

入学時の学力検査や生徒学力調査に基づき、生徒の個性や能力を伸ばす授業等の学習活動を工夫した教育を展開する。

学校全体として、普通科と美術科の併置をいかした相互の科目を履修できる教育を展開するとともに、地域の特性をいかした県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

(3) 編成の方針

普通科として、共通教科・科目を中心とする必履修科目や選択科目、総合的な学習の時間等の領域で教育課程を構成する。

美術科の専門学科として、学科の設置趣旨や目標に基づき、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、将来のスペシャリストの育成をめざして、進学や就職など多様な進路に対応した教科・科目により教育課程を編成する。

美術科の科目構成として、共通必修科目、美術科専門科目、自由選択科目で構成する。自由選択科目には、学科間連携による普通科の共通教科・科目を含む。

生徒の学習や進路ニーズ等に応じて適正な教育課程を編成する。美術を深く学び、探究する系統性のある科目の配置や教育活動の工夫を教育課程上に明確にする。

美術科においては、基礎から発展、専攻へと学習が移行することに配慮して各学年の専門科目を設置する。

1 学年の専門科目ではすべての生徒が多様な題材を学ぶ機会を設け、2 学年に興味・関心に応じた選択科目を設置し、3 学年に専攻を定め高度で専門的な技術・技能の習得をめざした選択科目を設置する。

(4) 教育課程表 (予定)

普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年	国語総合			現代社会	数学			数学A			化学基礎			体育			保健	音楽 /美術 /書道	コミュニケーション 英語			基礎 英語		家庭 総合		社会と 情報		総合的な 学習の 時間	L H R	
2 学年	現代文B		世界史B		物理 基礎		生物 基礎		体育			保健	音楽 /美術 /書道	コミュニケーション 英語			家庭 総合		古典A		地理A		現代文A /数学研究 /英語表現 /数学B		総合的な 学習の 時間	L H R				
3 学年	現代文B		日本史B		体育		コミュニケーション 英語			現代文 読解		日本史探究 /世界史探究		英語表現			古典読解		音楽 /美術 /書道 /情報基礎 /実用数学		政治経済 /英語読解		自由選択 (0 ~ 8 単位)				総合的な 学習の 時間	L H R		
										物理 /化学 /生物		現代文読解 /数学総合A		数学			自由選択 (0 ~ 6 単位)													

自由選択科目	国語表現 ・ 古典B ・ 数学 ・ 数学B ・ 数学総合A ・ 数学総合B ・ 化学 ・ 器楽演奏 ・ 実用書道 ・ 仮名の書 ・ 英語会話 ・ フードデザイン ・ 子どもの発達と保育 ・ 伝統工芸 ・ デッサン入門 ・ 古典読解 ・ 応用世界史 ・ 応用日本史 ・ 英語読解
--------	--

美術科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	集中
1 学 年	国語総合			現代 社会	数学			化学 基礎	体育			保健	美術	コミュニケーション 英語	社会と 情報	素描	構成			総合的 学習の 時間	L H R	美術 館 研 究									
2 学 年	現代文B		世界史B		科学と 人間 生活		体育	保健	コミュニケーション 英語		家庭 基礎	素描	構成	情報 メディア デザイン	陶芸	絵画 /彫刻 /ビジュアル デザイン		総合的 学習の 時間	L H R	展 示 ワ ー ク	穴 窯 研 究										
3 学 年	現代文B		日本史B		体育	コミュニケーション 英語		美術史	素描	平面表現 /立体造形 /デザイン /伝統工芸			平面表現 /立体造形 /デザイン /伝統工芸	自由 選択	自由 選択	総合的 学習の 時間	L H R	穴 窯 研 究													

短期集中科目	1年 / 美術館研究 2年 / 穴窯研究 ・ 展示ワーク 3年 / 穴窯研究
--------	--

2年選択科目	必修選択科目 / 絵画 ・ 彫刻 ・ ビジュアルデザイン
3年選択科目	必修選択科目 平面表現 ・ 立体表現 ・ デザイン ・ 伝統工芸 深めるための選択科目 平面表現 ・ 立体表現 ・ デザイン ・ 伝統工芸 補完したり広めたりする自由選択科目 応用世界史 ・ 応用日本史 ・ 版画 ・ クラフトデザイン 補完したり広めたりする自由選択科目 古典読解 ・ 英語読解 ・ 映像表現 ・ ドローイング

(囲いの数字は単位数)

教育課程表は予定であり、変更することがある。

普通科と美術科の併置の特色をいかした選択科目について

普通科・美術科の併置の特色をいかした教育課程を編成するため、専門的な学習や進路の活動に対応できる科目、穴窯による陶芸等、専門的に深く学べる科目を設置する。

< 主な科目 >

「デッサン入門」
3年自由選択科目

...形態を正確に捉え、表現する力を身に付けるため、デッサンの基礎から学び、デッサン力の向上をめざす。

「伝統工芸」
3年自由選択科目

…茶碗や湯のみ、一輪挿しなどの陶芸作品を制作する。菊練り、電動ろくろ成形・染付け技法等の習得を経て、施釉・穴窯焼成を体験することで生徒の興味・関心に応えるとともに、生涯にわたり伝統工芸を愛好する心情を育む。

(5) 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの学習目的や進路希望に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

専門科目の展開では、実技・実習などの学習活動を充実させるとともに、各自の学習ニーズに応じたきめ細かい指導が実施できるよう配慮する。

多様な題材を学ぶ専門科目では、外部講師から専門的な技法等について指導を受け、美術館等の校外学習や穴窯焼成など、長期休業期間を活用した短期集中講座を開講する。

普通科と美術科併置の特色をいかした学習指導の工夫では、自由選択科目に伝統文化の理解と芸術的感性を育む学科間連携による美術科専門科目の設置や、校内美術展や作品展示など、全校生徒が日常的に芸術作品に触れる機会の提供を行う。

(6) 生徒指導等の工夫

特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動を通して、生徒一人ひとりがより良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

学科の特性をいかした学校行事、生徒会活動、部活動や地域連携活動を活性化させ、学校全体としての特色ある学校づくりを推進する。

自己を知り他者を尊重し、ルールやマナーを守り、規則正しい生活を送ることのできる自己管理能力の伸長を図る。

(7) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど、支援体制を確立する。

各教科の科目及び専門科目における充実した実技・実習などの学習活動と各自の学習ニーズに応じたきめ細かい指導を実施して、生徒一人ひとりの進路実現を図る。

(8) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

普通科・美術科を一体化した学校運営組織による学校経営を行う。

学校運営協議会等による地域との協働ならびに大学や社会教育機関との連携を推進する。

7 施設・設備の整備

学年制による全日制普通科及び美術科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

学年制による全日制普通科及び美術科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256